

日本学術会議

第二部役員会（第25期・第17回）

1. 日 時 令和3年12月23日（木） 11:00～12:00

出席者：望月副会長、武田部長、丹下副部長、尾崎幹事

2. 形 式 オンライン会議

3. 議 題

（1）「科学的助言等対応委員会」の委員について

⇒二部委員：丹下健副部長、神田玲子幹事、木村道男会員、平井みどり連携会員、福嶋義光連携会員を推薦。

（2）第二部での査読について

⇒査読に関する論点について意見交換を実施。分野別委員会から発出する場合は各部だけの査読で良いのか？また各部だけでまとめる場合は如何するのか？査読候補者の推薦？今後も「走りながら考える」方向。

（3）拡大役員会について

⇒査読及びパンデミックと社会に関する連絡会議、が主たる議題になる予定。査読の方向性が決まった段階の1月下旬から2月開催予定。学術研究振興分科会での審議の進捗状況についても情報提供。

（4）大阪大学蛋白質研究所運営協議会委員の推薦について

⇒推薦（内諾の必要性の有無）について検討した。

（5）予算執行状況について

⇒現在の残額を確認した。

（6）その他

⇒来年度4月から6月期の学術フォーラム、コロナ禍と共に生きる、でCOVID-19関連のレジストリ（呼吸器、妊産婦、メンタルヘルス、Long COVID等）の可能性について検討した。パンデミックと社会に関する連絡会議が主催する学術フォーラムも考えたらどうかとの意見があった。次回の連絡会議コアメンバー会議に提案を検討。

⇒PGT-Mについても議論した。